

進路だより

令和8年1月20日

公立高等学校（道立・市立 共通） 出願変更の流れ

1月26日（月）10:00～北海道教育委員会のホームページにて公立高等学校の出願状況が発表されます。出願変更をする場合の手順をお知らせしますので、御確認ください。なお、**出願変更をする場合は、1月27日（火）～1月30日（金）17:00 までに中学校に出願手続き依頼書の提出を完了するよう**お願い申し上げます。※2月1日（土）・2日（日）は中学校も高等学校も手続きを行うことはできません。

手続の日程

内容	日時
出願状況発表（道教委 HP 発表）	1月26日（月） 10:00
出願変更受付開始	1月27日（火） 9:00～
出願変更状況の中間発表（各校掲示・道教委 HP 発表）	1月29日（木） 16:30
出願変更 校内の受け付け連絡終了 （担任に出願変更の依頼を電話で伝える）	1月30日（金） 8:55 まで
出願変更 校内の受付終了 （出願手続き依頼書を修正し、願書提出を完了する）	1月30日（金） 17:00 まで
出願変更 高校の受付終了 （関係書類を高校に提出を完了する）	2月02日（月） 16:00 まで
出願変更状況の最終発表（道教委 HP 発表）	2月12日（木） 10:00

【公立高校の出願変更手続の基本的な流れについて】 ※出願変更は1回だけ認められています。

1. 生徒が、担任に出願変更の依頼を直接伝える。
2. 保護者が、担任に出願変更の依頼を電話で伝え、下記の3～10の日程を調整する。
（※生徒からの申し出だけでは、手続を進めることができませんので、御注意ください。）
3. 「出願先高校→変更先高校」が「道立→市立」「市立→道立」の場合は、生徒と保護者が、願書を Web サイトで作成し印刷する。受検料として、収入証紙の購入もしくは振り込みをする。
※以降の手続きのため、Web 申込に利用したメールアドレス・パスワード等の控えを必ず保存、御持参ください。
4. 保護者が、3の願書を持参して中学校へ来校し、生徒と一緒に出願手続き依頼書の訂正、最終確認を行う。（出願手続き依頼書を訂正および書類 ABC の作成のために、必ず印鑑を御持参ください。また、来校時間帯によっては、生徒は授業を抜ける場合もあります。）
5. 保護者と生徒が、出願変更に関わる書類 A を作成する。
6. 保護者が、当初出願した高校に行き書類 A を提出する。高校から交付された書類 B を受け取る。
7. 保護者が、高校から渡された書類 B を中学校に提出する。
8. 中学校が、書類 B の確認をする。
9. 保護者が、変更先の高校へ書類 B を提出する。高校から交付された書類 C を受け取る。
10. 高校から渡された書類 C を中学校に提出する。

※変更の内容によっては、7で終了する場合があります。

書類 A：出願変更願、（還付金振込口座申込書）、（検定料の還付について）

書類 B：出願変更承認書、 書類 C：入学願書受付書

※書類 A、B、C は、全て来校後に学校で準備します。（御家庭での印刷と準備は不要です。）

※手続きの4～9は可能な限り同日内で完了できるよう、日程の調整に御協力お願いいたします。

【出願変更ケースによる手続の流れ】 **出願変更をする際は、最初に中学校へ御連絡ください。来校日時等の御相談をさせていただきます。**

出願変更のケース	家庭で用意するもの	校内の手続	当初出願した高校での手続	変更先の高校での手続
①当初出願校内で学科の変更 例) 札工(建)→札工(土) ※第一志望の変更のみ可能	・訂正印	・「出願手続依頼書」を訂正 ・「出願変更願」を作成	・「出願変更願」を提出 ・「出願変更承認書」を受け取り、 中学校へ提出	
②道立→道立の変更 市立→市立の変更 例) 南→月寒	・訂正印 ・郵送料（郵券）	・「出願手続依頼書」を訂正 ・「出願変更願」を作成	・「出願変更願」を提出 ・「出願変更承認書」を受け取り、 中学校へ提出 ・「郵送料」を請求された場合は支払う	
③市立→道立の変更 例) 平岸→白石	・訂正印 ・受検料分の収入証紙 ・郵送料（郵券） ※（中学校に連絡後）Web 出願 サイトで市立高校の出願取 り下げ手続を行う ※道立入学願書を作成、印刷 （A4 片面印刷で 2 枚）	・「出願手続依頼書」を訂正 ・「出願変更願」を作成 ・「入学願書（収入証紙・写真 貼付）」を作成 ・（市立高校への Web 出願時 に）オンライン決済をしな かった場合は「還付金振込 口座申出書」を作成	・「出願変更願」を提出 ・（「還付金振込口座申出書」を提出） ・「出願変更承認書」を受け取り、 中学校へ提出 ※受検料払い戻しの場合あり	・「入学願書」、「出願変更承認書」を 高校に提出 ・「入学願書受付票」を受け取り、中学 校へ提出
④道立→市立の変更 例) 月寒→平岸	・訂正印 （・振込済みの納付書・領収書） ・郵送料（郵券） ・通帳等、銀行口座番号や名義 等が分かるもの（還付手続さ のため） ※市立入学願書を作成、印刷	・「出願手続依頼書」を訂正 ・「入学願書（納付書・領収書・ 写真貼付）」を作成 ・「出願変更願」を作成 ・「検定料の還付について」を 作成	・「出願変更願」を提出 ・「検定料の還付について」を提出 ・「出願変更承認書」を受け取り、 中学校へ提出	・「入学願書」、「出願変更承認書」を 高校に提出 ・「入学願書受付票」を受け取り、中学 校へ提出

※出願変更のケース②③④の場合、手続完了後、高校間での書類の送付のために、当初出願した高校から郵送料を郵券で請求される場合があります。

（道→道:490 円/市→市:530 円/市→道・道→市:460 円）

※出願変更のケース③④の場合、①出願サイトから新たな入学願書を作成してもらいます。

②変更先の高校に「出願変更承認書」を提出した後に、返却される場合があります。その場合は高校から受け取り、中学校へ提出ください。中学校で確認後、出願者に返却します。

※受検料の還付は、準備した口座に後日、振り込まれます。

※出願変更に関わる書類の保護者等署名欄は、願書と同一の氏名を署名することになります。そのため、願書に署名された保護者の方が手続にお越しくください。

出願変更の場合の願書・入学検定料(入学手数料)の扱い

	願書の提出	入学検定料(入学手数料)の準備
道立→道立	不要	不要
道立→市立	新たに提出	必要(新たに支払いが必要となり、オンライン振込または金融機関での納入になります) ※道立高校に支払った入学検定料は還付されます。 →銀行口座への振り込みとなります。銀行口座番号や名義等が分かるものを御用意ください。
市立→道立	新たに提出	必要(新たに支払いが必要となり、収入証紙を購入していただきます) ※市立高校に支払った入学検定料は還付されます。 →オンライン決済により納入された入学手数料は取り下げが完了することで自動的に返金処理がされます。
市立→市立	不要	不要

※入学検定料(入学手数料)の納入方法は、市立が金融機関での納入、道立が収入証紙です。

【市立 → 道立へ変更する場合】

①【公立高校の出願変更手続の基本的な流れ】の①～②を行う。

②当初出願した市立高校の「申請取り下げ」を「出願取り下げ受付フォーム」から行う。

【資料】「令和8年度 札幌市立高校入試者選抜 WEB 出願マニュアル (p.41～)」

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/school/senbatu/documents/manual.pdf>



③道立の Web 出願サイトで変更先の高校への入力を行い、願書(正本)を印刷する。

【資料】「令和8年度 道立高等学校入学者選抜 出願手続に関するページ」

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/dokyoj-web-application.html>



【資料】【進路だより第13号】

<https://www.hue-fsj.ed.jp/R7shinro13.pdf>



※配布されたマニュアルは、クラスルームにPDFでアップされています

※以下の点に御注意ください。

- ・左上に受付番号が記載された願書(正本)を用意する。
※正規の手順は「点検用願書を印刷→点検用願書を中学校で点検→点検後高校に『送信』し、願書(正本)を印刷する」という流れですが、出願変更の場合は、家庭で点検したうえで『送信』し、願書(正本)を用意してください。
- ・願書(正本)・写真台紙は片面・A4・2枚で印刷する。※写真は不要。
- ・収入証紙(2200円分)を購入し、貼らずに中学校へ持参する。

※市立高校の検定料をオンライン決済した場合、還付は口座に直接行われるので、還付に関する書類作成の必要はありません。

④ ①～③を完了させ、【公立高校の出願変更手続の基本的な流れ】の④以降の動きを行う。

【道立 → 市立へ変更する場合】

①【公立高校の出願変更手続の基本的な流れ】の①～②を行う。

②市立の Web 出願サイトで変更先の高校への入力を行い、願書を印刷する。

【資料】「令和8年度 市立高等学校入学者選抜 出願手続に関するページ」

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/school/senbatu/index.html>



【資料】【進路だより第15号】

<https://www.hue-fsj.ed.jp/R7shinro15.pdf>



※検定料をオンライン決済しない場合は、中学校へ申し出て下さい。納付書をお渡しします。

その場合は、願書に「納付書・領収書」を貼付してください。

※配布されたマニュアルは、クラスルームに PDF でアップされています

③「道立高校の願書に記載した保護者名」の口座番号等が分かるものを用意する。

※道立高校の検定料の還付のために使用します。

④ ①～③を完了させ、【公立高校の出願変更手続の基本的な流れ】の④以降の動きを行う。

【出願変更における注意点】

出願変更は、道内の公立高校受検者の権利です。権利ですから、出願変更は自分にとって「利」となる選択であってほしいと考えます。出願変更を考える場合は、「自分の進路実現のために必要な選択であるのか」「気持ちを切り替え、前向きに努力するために必要な選択であるのか」ということをしっかり考えてほしいと思います。出願変更をしたから合格しやすくなるというわけではありません。出願変更をした高校に合格して、いざ通ってみたら「思っていたのと違う」ということが起こるかもしれません。自分でよく考えた末の決断であれば、どのような形であれ、最後は納得できると思いますが、倍率などを見た一時の感情で決めてしまうのは性急ではないかと思います。これまで、出願先についてじっくりと考えてきたはずですから、出願変更の判断についてもじっくり考えてほしいと思います。安易な決断をして、後悔してほしくありません。自分の決断に自信と責任をもって行動するためにも、保護者の方や先生とよく相談して決められるとよいと思います。

(1)倍率について

1.1 倍や 1.2 倍という数字は、各高校の募集人員（定員）に対して出願者がどの程度いるのかを示しています。しかし、小数第2位を四捨五入しているため、注意が必要です。また、募集人員が違う高校の倍率が同じ数字だとしても、実際の人数は異なります。情報（出願状況）を正しく理解してください。

【倍率の考え方の例】

例A 募集人員が 100 人の学科に、150 人が受検を希望した場合
→ $150/100=1.5$ 倍 「150 人の中で、100 人が合格する。」

例B 募集人員が 10 人の学科に、15 人が受検を希望した場合
→ $15/10=1.5$ 倍 「15 人の中で、10 人が合格する。」

例C 募集人員が 50 人の学科に、75 人が受検を希望した場合
→ $75/50=1.5$ 倍 「75 人の中で、50 人が合格する。」

例D 募集人員が 100 人の学科に、145 人が受検を希望した場合
→ $145/100\div 1.5$ 倍 「145 人の中で、100 人が合格する。」

例A B C D は「倍率が同じ 1.5 倍」だけど……？

(2)自己推薦選抜について

一般選抜より先に選抜される自己推薦選抜において、合格内定となった人の分だけ入学枠が減少します。また、自己推薦選抜において合格内定とならなかった人は再出願（高校受付期間：2月19日（木）～2月24日（火）／校内締切：2月19日（木））することができます。そのため、最終の出願状況は、3月2日（月）の「再出願後の出願状況の発表」までわかりません。